

新 著 紹 介

ホーレンバーク・アボット 著

「G. M. スミス著モンタレー半島海藻」補遺

GEORGE J. HOLLENBERG and ISABELLA A. ABBOTT: Supplement to SMITH's Marine Algae of the Monterey Peninsula. (Stanford University Press, Stanford, California, U. S. A. 1966. 130. pp. ¥1,500.)

本書は1944年発行の G. M. SMITH, Marine Algae of the Monterey Peninsula, California (Stanford University Press, Stanford, California, U. S. A. 1944. vii + 622 pp., 98 pls) の補遺である。

本書では、その調査区域はさらに北へ、特に南の方へ拡げられている。そして同半島の地図が掲載されたので、その生育地を知る上に極めて便利である。53の図はプレートではなくて挿図として入れられているので読者にとって利用し易くなっている。本書の印刷体裁全体は全くスミス博士の原本に従い、また、その頁数は本書のもつと同時に、括弧内に原本の続きの頁が入れられ補遺としての配慮が払われている。

本書には 259 頁の新事項が附加され、それらは各頁の縁の欄外余白に記号で印されている。即ち、1科19属55種がそのフロラに新たに加えられた。また、新しい命名規約に従い 2 亜綱 1 目 8 科 20 属 77 種に変更が加えられ、7 属数種がそのフロラから除外された。4 目 9 科 23 属 18 種の記載の訂正がされ、2 亜綱 6 目 22 科 28 属に新しい検索表が与えられた。さらに、分布の新記録、生活史、生殖法その他の新知識が 1 目 3 科 3 属 18 種について附加記述されている。

日本海藻フロラ的一种サビモドキがそのフロラに加えられたことは興味深い。ペニマダラ属がイワノカワ属とともに、スミス博士に従いイワノカワ科として分類されていることは納得のいかない点である。Petalonia DERBES & SOLIER, 1850 (Ilea FRIES, 1835; Phyllitis KÜTZING, 1843) と Iridaea BORY, 1826 (=Iridophycus SETCHELL & GARDNER, 1937) が属名保留として提案されている。

本書は一地域のフロラの補遺ではあるが、現在の海藻分類学の発達の現状を知る上に極めて参考になり、また、補遺として原本に極めて忠実であることは読者にとって気持よく利用できる良い学術書である。なお、J. A. WEST (Madroño, 19: 61, 1967) がその書評の中で三つの誤謬を指摘されているので参考にされたい。

(梅崎 勇—京都大学農部水産学教室)